

3Dの河川流況モデルを用いた河川管理の高度化

人口・資産が集積する豊平川の重要性を踏まえ、高速流による洗掘や侵食が発生しやすい危険箇所の把握・洪水時の河川流況の可視化を推進

豊平川の河川管理の課題

- ・河道内樹木の適正な管理、洪水時の高速流に伴う河床低下、河岸侵食等の詳細なメカニズムの把握と対策
- ・人口・資産が集中する大都市の水害に対するリスクコミュニケーション

洪水時河川流況の可視化

- ・iRICソフトウェアNays2DHをベースとし、流向解析を行うシステムを構築
- ・水位を解析し、得られた結果から河川流況を可視化

河川管理の高度化に向けて

- ・洪水時における河道内樹木による流況への影響を把握することにより樹木管理に活用
- ・解析結果と、出水後の河川測量結果、出水時のCCTV画像等との比較により洪水時の水障部、構造物周辺の詳細な水流れ等を把握することにより河床低下、河岸侵食のメカニズムを把握、被災要因の事後検証、対策工の検討に活用
- ・流域のリスクコミュニケーションツールとしての活用を今後検討

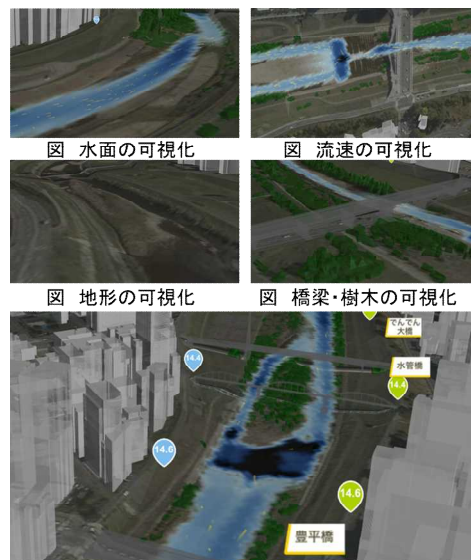


図 ラベル表示

